

～お気に入りのおめんを見つけよう～

広島市立東野小学校 大久保和恵 (T1)

清藤千恵弥 (T2)

1 日時・場所 平成23年10月13日(木)第5校時 第2音楽室

2 学年・学級 第2学年4組 (男子16名 女子16名 計32名)

3 題材について

○本学級の児童は、図画工作科の授業で絵をかいたり工作をしたりすることをとても楽しみにしている。これまでに、全校造形活動の時間につくった友だちや他学年の児童の作品を楽しんで見合ったり、そのよさについて自分なりに気づきを述べたりすることをしてきた。また、造形活動の途中や作品の完成後に自分の思いを話したり、友だちの話を聞いたりする鑑賞活動をおこなってきた。しかし、友だちの作品のよさを話す場面では、気に入った作品が仲良しの友だちのものだったり、言葉で思いを伝えることが十分にできなかつたりした。自分の意見に自信がないために話すことができなかつたり、友だちの意見に左右されたりする場合もある。みんなの前で話すことができない児童もいて、個別の支援が必要である。また、これまで経験してきた鑑賞活動は、主に絵などの平面作品が多く、立体作品の鑑賞の経験は少ない。

○本題材は、日本や外国のいろいろなお面を見たり、触ったり、かぶったりして自分のお気に入りを見つけ、感じ取った表現のおもしろさや楽しさを形、色、イメージなどの言葉にして書いたり、友だちに伝え合ったりするものである。この時期の児童にとって、お面を見るだけでなく触る、かぶるという活動は、作品と自分が一体的になり、より見ることを楽しむ鑑賞につながる。また、感じたことを友だちに伝え合うことで、友だちの考えに共感したり、それぞれの感じ方や見方が深まったりすると考える。お面は、児童にとって日常でも目にすることがある身近なものである。秋のこの時期には、近隣の神社で行われる祭りの神楽などで、お面に出会う児童もいるだろう。しかし、多くの児童は、様々な国で儀式や祭礼、舞踊の際に使われるお面の造形的な美しさやよさに、間近に触れる機会は少ないと考えられる。また、顔の表情としてとらえたときのお面には豊かな精神性も表れているので、親しみやすい。お面に一人一人が対峙して、鑑賞する活動は、児童にとって意欲的・主体的な学習につながると考えられる。お面を見る、触る、気に入ったところを形や色、イメージから自分なりの言葉で表現する活動を通して、生活を豊かにする造形作品や美術作品、友達の作品を見るときにもそれらの造形要素に着目してみることに一層関心をもつようになると考え、この題材を設定した。

○指導にあたっては、導入で一つのお面を提示し、感じたことや思ったことを自由に発表させ、その中から形や色などの造形要素に気づかせて、自分のお気に入りのお面を選ぶ際の手がかりにさせたい。また、児童が気に入ったお面と出会うことができるように、いろいろな表情のお面を準備する。また、お面のよさを十分に感じ取れるように、お面を触らせたり、かぶったりさせたい。お面をかぶった自分を

見ることができるように鏡も用意したい。また、一人一人の児童が、自分のお気に入りのお面を見つけやすいように、お面に会う場面では壁に掛かったものを鑑賞させる。授業では、対話型の鑑賞活動をおこなうことにより、一つの作品から様々な感じ方を引き出し、共感的な雰囲気をつくるようにする。そして、自分が思ったり感じたりしたことを友だちと伝え合うことで、お互いの考えに共感したり、自分とは違う思いを認めたりすることにつなげたい。自分の考えに自信のもてない児童や言葉がうまく見つからない児童には、教師による言葉がけや話し合いを手がかりとしながら、活動させたい。また、表現ヒントカード（言葉の花かご）を用意し、自分の思いに合う言葉で作品のよさや思いを考えやすいようにしたい。

4 題材の目標

○いろいろなお面を鑑賞し、感じたことを話したり、聞いたりしながら、形や色、表し方のおもしろさやよさなどに気づく。

5 題材の評価規準

	ア 造形への関心・意欲・態度	イ 鑑賞の能力
題材の評価規準	いろいろな表情のお面を見たり触ったりしながら、その面白さやよさを楽しもうとしている。	感じたことを話したり、聞いたりしながら、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気づいている。
学習活動における 具体の評価規準	①作品に対して興味や関心を持ち、気に入ったお面を体全体の感覚を働かせて味わおうとしている。	①作品を見たり触ったりして、形や色、表情、手ざわりなどからそのよさを感じ取り、自分なりの言葉で言い表そうとしている。 ②自分が感じたことを話したり、友達の話の聞いたりしながら、お面の形や色、イメージなどをとらえている。

6 準備物

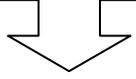
（指導者）お面、ワークシート、お面の拡大写真、敷物、鏡、イーゼル

（児童）探検バック、筆記用具

7 本時の展開

学習活動	教師の支援 ★努力を要する児童への支援	評価規準・評価方法
<p>1. 本時の学習内容をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">お気に入りのお面を見つけて、感じたことをつたえよう。</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">形, 色, 表情, 手ざわりについて,</div> <p>・お面を見て、形、色、表情、手ざわりについて発表する。</p> <p>2. お気に入りのお面を見つける。</p> <p>・壁にかけてあるお面の中から、お気に入りのお面を見つけて移動する。</p> <p>・触ったり、かぶったりしながらお面の面白さやよさに気づく。</p>	<p>○1つのお面に集中できるようにする。</p> <p>○お面を鑑賞する時の約束を話す。 (お面を触ったりかぶったりする時のマナー)</p> <p>★お面に近づけない児童には、声をかけて気持ちを聞き、一緒に見に行く。</p>	<p>イー①</p> <p>・活動の様子の観察 (表情・つぶやきの見取り)</p>
<p>3. 自分の感じたことを言葉で表現する。</p>	<p>○お気に入りのお面が見つけれられた児童からワークシートに自分の思いを書くよう助言する。</p> <p>★自分の思いを表現しにくい児童には、言葉を引き出すように問いかけたり、言葉の花かごなどに注目させたりする。</p>	<p>・ワークシート</p>
<p>4. お気に入りのお面について発表する。</p>	<p>○友だちの発表に関心をもち、共感したり違いを感じたりするために、同じお面を選んだ児童から発表するように促す。</p>	
<p>5. 本時の振り返りをする。</p>	<p>○形、色、表情、手ざわりなどがそれぞれのお面のよさにつながっていることを話す。</p>	

表現ヒントカード（言葉の花かご）

形	色	かんじ(ひょうじょう)	手ざわり(ざいしつ)
<div data-bbox="191 504 438 649" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 目 鼻 口 耳 顔 つの あご ほお は </div>  <ul style="list-style-type: none"> ・丸い ・四角い ・ほそ長い ・とがっている ・ぎざぎざ ・とび出している 	<ul style="list-style-type: none"> ・白い ・赤い ・黒い ・黄色い ・金色 ・光っている ・明るい ・くらい ・あざやかな ・にごった ・ほんやりした ・にぎやかな ・はっきりした ・はでな ・じみな 	<ul style="list-style-type: none"> ・わらっている ・おこっている ・ないている ・かなしそうな ・おそろしそうな ・楽しそうな ・にこにこしている ・おかしな ・ぷんぷん ・しくしく ・うきうき 	<ul style="list-style-type: none"> ・つるつるした ・すべすべした ・ざらざらした ・かたい ・やわらかい ・つめたい ・あたたかい ・かさかさした ・ごわごわした